

JKJO北陸地区審判講習会のお知らせ

【趣旨】 大会ルールの統一、審判技術の向上を主目的とし、公正で厳格な審判員の育成を目指しています。現在日本全国250団体以上が参加し、審判員育成と共に団体間交流を行っています。

【日時】 2022年9月25日(日)
集合 8:45 9:00～審判講習会 11:00～交流大会(終了後、筆記試験)

【会場】 かほく市七塚武道館(石川県かほく市浜北イ25番地16 ☎076-283-4559)

【主催】 一般社団法人 全日本空手審判機構 JKJO北陸地区事務局

【参加費】 審判員：無料 (交流試合への参加選手がない場合は2000円/団体)

【ライセンス登録料】 A～E級 1,000円 *ライセンス受験者・更新者のみ

【持ち物】 ホイッスル、リストバンド(主審)、ライセンス証(ライセンス取得者)
筆記用具(筆記試験を受ける方) フェイスシールド、手袋(各自用意)

【服装】 JKJOシャツ(講習2回目の方まで白シャツ可)・紺または黒のスラックス・JKJOネクタイ
*過度な化粧・頭髪の色・装飾品は禁止

【受験資格】	E級	講習会に2回参加した者。高校生以上で空手修行4級以上の者 (代表者の推薦あれば級は問わない)
	D級	E級取得後、E級講習に参加した者
	C級	D級取得後、D級講習への参加、及び公認大会審判か大会運営員を1年間に1回以上した者 黒帯以上(代表者の推薦あれば、空手修行5年以下かつ2級以下の者も受験可)
	B級	C級取得後、C級講習に参加、及び公認大会審判経験を1年間に1回以上した者
	A級	B級取得後、B級講習に参加、及び公認大会審判経験を1年間に1回以上した者
	準S級	A級取得後、公認大会審判経験を1年間に2回以上、講習会検定員補助を2回以上した者 A級取得後1年を経過後、所属地区検定員の推薦を受け受験可能(S級検定年2回開催)
	S級	準S級取得後、公認大会審判経験を1年間に2回以上、検定員業務を2回以上した者。 準S級取得後1年を経過後、所属地区検定員の推薦を受け受験可能(S級検定年2回開催)

*受験資格を満たしていない場合は受験できません。

*D級、E級受験は実技試験のみ。C級以上の受験は実技試験+筆記試験があります。

*B級以上の受験・更新者は3年に1度の救急救命セミナー受講が必要です。
(所属道場等で救命講習を行った場合、修了書のコピーを提出してください)

*A級までの昇級は年2回迄だが、受講は何回でもできます。(同級再受験は年3回まで可)
但し、受験・受講合わせて記録に残るのは年3回までとなります。

*A級以下にかぎり、失効後、元の級以下を選択し再受験できます。
失効している期間は問いません。不合格の場合は無級となります。
※準S級以上はA級から再受験できます。

【注意事項】 ※受験申込書について

ライセンス受験及び更新の方は、**審判シャツ・JKJOネクタイ着用写真付の受験申込書**
を提出してください。指定の服装着用以外の写真は受付できません。
未提出の場合は当日参加しても講習者扱いとなりますのでご注意ください。

※ライセンス有効期限について

ライセンスの有効期限は3年間です。(2019年4月以降受験より)
失効する前に必ず更新・受験を行ってください。

【締め切り】 **2022年9月5日(月) 必着**

① 審判講習会参加申込書 ② 公認審判員受験申込書 ③ 審判員受験・更新料
*各団体ごとに現金書留にて下記の住所まで郵送してください。

【申込先】 一般社団法人全日本空手審判機構 JKJO北陸地区事務局
〒921-8005 石川県金沢市間明町2丁目67番地
☎090-8264-8515 FAX 076-292-0717

JKJO全日本空手審判機構 審判講習会 参加申込書 (FAX可)

●開催内容(講習会開催者入力・記載欄)

地区名(○をして下さい)	北海道・東北・甲信越 北陸 関東・中部・関西・中国・四国・九州		
講習会開催者名	JKJO北陸地区事務局		
問い合わせ先	TEL	090-8264-8515	FAX 076-292-0717
講習会日	西暦2022年9月25日(日)		会場 かほく市七塚武道館
参加申込期限	西暦2022年9月5日(月)		

- *受験・更新の方は、別途「受験申込書」とライセンス登録料(A～E級1000円、S・準S級3000円)を期限までに提出してください。
 *ライセンス取得者は、取得後1回講習を受けなければ次級受験ができません。(昇級は年2回まで)
 受講は何回でもできます。但し、受験・受講合わせて記録に残るのは年3回までとなります。
 *検定結果不合格の場合は現級更新扱いとなります。(不合格による再受験は年3回まで)
 *ライセンスの有効期間は3年です。(2019年4月以降受験より) 昇級を希望しない方も失効前に要更新。
 *交流大会への参加選手がいない場合は2,000円/団体(但し、S級・準S級の受験・更新の為に他地区から参加の場合は不要)

●参加者名簿(参加道場入力・記載)

道場名			代表者名			
連絡先	TEL			FAX		

受講する番号を選び、下記に記入してください。

- ①講習1回目(初参加) → ②講習2回目 → ③E級受験 → ④E級講習 → ⑤D級受験 → ⑥D級講習 → ⑦C級受験 →
 ⑧C級講習 → ⑨B級受験 → ⑩B級講習 → ⑪A級受験 → ⑫A級検定員補助業務(1) → ⑬A級検定員補助業務(2) →
 ⑭準S級受験 → ⑮準S検定員業務(1) → ⑯準S検定員業務(2) → ⑰S級受験 → ⑱S級検定員業務 ⑲各級更新(A～S級)

No	フリガナ氏名	現級	現級ライセンス取得日	受験・講習の方	更新の方	ライセンス登録料
	記入例→	E	2016/7/31	④E級講習	⑱()級更新	
	記入例→	A	2015/3/31		⑱(A)級更新	○
1					⑱()級更新	
2					⑱()級更新	
3					⑱()級更新	
4					⑱()級更新	
5					⑱()級更新	
6					⑱()級更新	
7					⑱()級更新	
8					⑱()級更新	

受験・更新者	名	円
交流大会への参加選手	有 / 無	2,000円
合計		円

JKJO全日本空手審判機構 A～E級公認審判員受験・更新申込書

JKJO公認審判員規程別1
A～C受験者→講習会開催者
→JKJO本部発行
D～E受験者→講習会開催者発行

登録料 1,000円

①太枠内をご記入ください

受験日	西暦 2022 年 9 月 25 日 (日)	会場名	かほく市七塚武道館
開催地区	北海道・東北・甲信越・ 北陸 ・関東・中部・関西・中国・四国・九州		

*昇級は年2回まで。不合格による再受験は年3回まで可。

受験級	A B C D E (○を付す)	受験区分	新規・再受験・更新 (○を付す)
登録No	— 初受験の場合 未記入	所属道場	
ふりがな			
氏名	生年月日	西暦	年 月 日
	性別	男・女	年齢 歳

カラー写真1枚
3×4cm・上半身
審判シャツ・
JKJOネクタイ着用
裏面に名前記入
写真の貼り付けが無い場合
講習者扱いとなりますので、
次回再受験となります

住所	(〒 -)				
電話番号	- -	空手段位	級・段	空手修行歴	年 ヶ月
現ライセンス	A B C D E (○を付す)	現ライセンス取得年月日	年 月 日		

D級以上ライセンス保持者 審判経験 ※1年に1回以上公認大会での審判経験を要する(D級保持者は大会運営員でも可)

(受験資格となりますので、未記入の方は受験不可となります)

西暦 年 月 日 大会名 主審・副審・運営員(D級のみ)

B級以上ライセンス受験者・更新者 救急セミナー参加経験 ※3年に一度受講義務

西暦 年 月 日 場所

備考 ※改名、道場の移籍等が生じた場合、記入してください

(検定員記入欄) JKJO全日本空手審判機構 公認審判員試験 合否判定

実技試験	検定員名	1	2	補助
------	------	---	---	----

※減点方式のため、問題が無ければ「5」に○を付けてください (例:ライセンス証不携帯の場合減点1で「4」に○)

服装 (ライセンス証の携行・ネクタイ・シャツ・ズボン・頭髪の色・過度な化粧・装飾品)	5	4	3	2	1
審判動作	5	4	3	2	1
反則・有効技に対する反応 (アクシデントに対する対応も含む)	5	4	3	2	1
判定の正確性	5	4	3	2	1

※筆記試験合格点/90点以上

※実技試験合格点/A級18点以上・B級17点以上・C級16点以上・D級15点以上・E級14点以上

筆記試験	立会 検定員名	点数	点	実技試験	点	総合評価	合格・不合格
------	------------	----	---	------	---	------	--------

特記事項	
------	--

JKJO北陸地区 空手道交流大会のお知らせ

JKJO北陸地区空手交流試合を下記日程にて開催いたします。
審判講習会の趣旨にご協力・ご賛同いただける選手を募集いたします。

【日時】 2022年9月25日(日)

選手受付 10:30 (団体受付)
試合開始 11:00 予定

【試合会場】 かほく市七塚武道館
石川県かほく市浜北イ25番地16 ☎076-283-4559

【参加資格】 幼年～高校生、一般、シニア

【カテゴリー】 *学年別・男女別のトーナメント制 *JKJOルール(別紙参照)

幼児～高校生 初心クラス	無級～9級、大会出場回数5回未満の者(交流試合含む) 出場大会にて入賞歴のない者
幼児～高校生 初級クラス	無級～5級 全日本大会出場経験者、及びJKJO全日本代表権獲得者は不可
幼児～高校生 中上級クラス	出場資格の制限なし 全日本大会出場経験者、及びJKJO全日本代表権獲得者も可
シニア初級クラス	40歳以上 無級～5級 体重無差別(防具類、試合時間はJKJOルール高校生と同じ)
一般初級クラス	高校生以上 無級～5級 体重無差別(防具類、試合時間はJKJOルール高校生と同じ)

【参加費】 3000円
*上位入賞者には賞が授与されます。

【持ち物】 空手衣・サポーター類 ※貸し出しはありません
*ヘッドガード(JKJO公式フェイスシールド着用必須)
*拳サポーター、スネサポーター:JKJO指定品 ・膝サポーター:3年生以上義務 JKJO指定品
*胸サポーター:3年生以上女子義務(2年生以下着用禁止) ・帯留め:義務
*ファールカップはズボンの下に、女子の胸ガードはTシャツの下に着用(JKJO推奨品)
*女子が空手衣の下に着用するTシャツは白色、男子はTシャツは着用しないこととする

【注意事項】 ・選手一人につき、付き添い(保護者)1名のみ入場可。65歳以上の方はご入場いただけません。
・参加選手はスポーツ保険に加入しておくこと。
・参加選手は勿論、付き添いの方々も相手選手や審判員に対する礼節・マナーに充分ご配慮願います。
・審判講習が目的となりますので、試合中に審判員・選手への注意・指導が行われる場合があります。
・保護者・先生による応援はできません。ご協力お願いいたします。
・人数が少ない場合統合有。
・初心→初級等の変更がある場合はご連絡いたします。

【締切】 2022年9月5日(月) 必着

- ① 空手道交流試合参加申込書
 - ② 空手道交流試合選手参加費(1名につき3,000円)
- *各道場単位でまとめて現金書留にて送付してください。

【申込先】 〒921-8005 金沢市間明町2丁目67番地
全日本空手審判機構 JKJO北陸地区事務局 中島宛 ☎090-8264-8515

キリトリ

JKJO北陸地区空手道交流試合出場申込書

2022年9月25日(日) 会場:かほく市七塚武道館

大会実行委員長 殿

私議、下記の通り相違なく、本大会のルールに従い正々堂々と競い合うことをここに誓います。

また、本大会中における負傷・事故につきましては、主催者側にその責任の一切を問いません。

2022年 月 日

選手保護者氏名

㊞

団体名					代表者名			
フリガナ					生年月日	年	月	日生
氏名					TEL			
学年	幼年(年少・年中・年長)	小学・中学・高校	年	シニア	一般	出場希望クラス	初心・初級・中上級	
性別	男・女	帯色			級段位	級・段		
身長	cm	体重			kg	空手修行歴	年 ヶ月	

JKJO全日本空手審判機構 試合規約

	試合時間				組 手		サポーター						
	本戦	延長 ※マスト	再延長 ※マスト	上段ガ	一本 (自滅も同様)	技有り (自滅も同様)	ヘッドガード JKJO指定品 各自用意	拳 JKJO指定品 各自用意	スネ 脛 JKJO指定品 各自用意	ヒザ 膝 JKJO指定品 各自用意	ファール カップ JKJO推奨品 各自用意	女性用 チェストガード JKJO推奨品 各自用意	
幼児 小学生	1分30秒	1分	1分 決勝のみ	無	打撃により 一瞬でもダウン 3秒以上の 戦意喪失	① 宙に浮かせ転倒させる ② 上段にクリーンヒット ③ 一時的に動きが止まる ④ 一時的に戦意喪失 ⑤ 下段蹴りで足を引きずる ⑥ 腹部のダメージで体が くの字になる ⑦ 防戦一方になり反撃しない 状態が続く	○	○	○	○ 3年以上 義務	○	3年生以上女子 ○ 2年生以下女子 × 男子 ×	
中学生	1分30秒	1分	1分 決勝のみ	有			○	○	○	○	○	○	女子 ○ 男子 ×
高校生	2分	2分	2分 決勝のみ	有			○	○ グローブ	○	○	○	○	女子 ○ 男子 ×
一般 女子	2分	2分	2分 決勝のみ	有	打撃で3秒 以上のダウン	① 完全に宙に浮かせ転倒させ タイミング良く下突きを合わ せれば技有り ② 上段にクリーンヒットし ダメージがあれば技有り ③～⑥ ジュニアと共通	×	×	○	任意	○	○ 硬質可	
一般 男子	2分 準決勝から 3分	2分	2分 準決勝から	有	3秒以上の 戦意喪失		×	×	×	×	○	×	

※JKJO 指定品と同タイプで、新極真のロゴマークが入っているサポーター (新極真 NS, 新極真 SL-3058) ヘッドガード (金網面 HG-M3-WH-SK) は使用可。

反 則
a. 掴み、掴んでからの攻撃、掛け、抱え込み b. 掌底押し、正拳押し、相手の身体に手・胸を付けての攻撃 c. 頭突き、頭をつけての攻撃、背後からの攻撃 d. 手技による顔面・首への攻撃、膝への関節蹴り e. 下腹部(帯より下、股関節より上)への攻撃(一般は金的) f. 故意に場外へ出る事、審判が判断した技のかけ逃げ g. 上段膝蹴り(小学生以下は反則、中学生以上は有効) h. 主審の「やめ」の合図の後に意図的に攻撃をした場合 i. その他審判が反則とみなした場合

失 格
a. 注意4となった場合 b. 一度の反則でも相手がドクターストップになった場合 c. 試合時間に遅れた時 d. 審判員の指示に従わない時 e. 試合開始から判定が下されるまでの嘔吐はダメージ とみなされ失格とする f. 規定体重を超えていた場合

判定優先順位
一本 (失格) > 技有り > ダメージ > 有効打 > 攻撃数 > 積極性

判定基準図解												
<table style="margin: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">技有り1</td> <td style="text-align: center;">技有り2(一本)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">注意1</td> <td style="text-align: center;">注意2</td> <td style="text-align: center;">注意3</td> <td style="text-align: center;">注意4(失格)</td> </tr> </table>		技有り1	技有り2(一本)						注意1	注意2	注意3	注意4(失格)
	技有り1	技有り2(一本)										
注意1	注意2	注意3	注意4(失格)									

注意差の関係	
0 ≦ 注意1 ≦ 注意2 ≦ 注意3 > 注意4	注意差1の時は最終延長以外判定に影響しない。注意4になった時点で失格
0 ≧ 注意2	注意差2の時は基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けとなる。最終延長では負けとなる。
0 > 注意3	注意差3の時はどんなに試合内容でリードしていても技有りを取らない限り負けである
0 > 注意4	注意4になった時点で失格
注意1 ≧ 注意3	注意差2なので基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けとなる。最終延長では負けとなる。
注意1 > 注意4	注意4になった時点で失格なので相殺されない
注意2 > 注意4	注意4になった時点で失格

注意差と技有りの関係	
0 < 技有+注意1 ≦ 技有+注意2 ≦ 技有+注意3 > 技有+注意4	注意差1の時は最終延長以外判定に影響しない。注意4になった時点で失格
0 < 技有+注意2	注意差2でも技有りがあるので勝ちである
0 ≦ 技有+注意3	技有りがあるので勝ちだが、8:2以上の試合内容で引き分けとなる。最終延長では勝ち。
0 > 技有+注意4	技有りがあっても注意4になった時点で失格
技有+注意1 ≧ 技有+注意3	注意差が2なので基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けとなる。最終延長では負け。
技有+注意1 > 技有+注意4	注意4になった時点で失格
技有+注意2 > 技有+注意4	注意4になった時点で失格

着 衣
<ul style="list-style-type: none"> ・ 帯留め着用必須 (帯が解けないように帯留め又はテープで固定) ・ ファールカップはスポンの内側にすること。 ・ 男子のインナーTシャツは禁止、女子は白のみとする。 ・ 女子のチェストガードはTシャツの下に着用すること。

禁 止 事 項
<ul style="list-style-type: none"> ・ 判定後の「雄叫び」「ガッツポーズ」は厳禁とする。(注意・失格となる場合がある) ・ 判定に対しての抗議は一切受け付けない。 ・ 怪我によりテーピングを施す必要がある場合は救護係りの指示に従い検印を受ける。 ・ テーピングは各自持参すること。

注 意 事 項
<ul style="list-style-type: none"> ・ セCONDコートは付けられない事とする。応援は禁止とする。 ・ 派手な髪型(金髪など過度の染髪、デザインした剃り込みを入れる等)での出場は禁止とする。 ・ 大会参加前には必ず各自スポーツ保険に加入すること。・大会主催者は、大会当日の事故・怪我・盗難についての一切の責任を負わないこととする。